

結核の基礎知識と 筑西保健所管内の発生状況

筑西保健所 結核担当

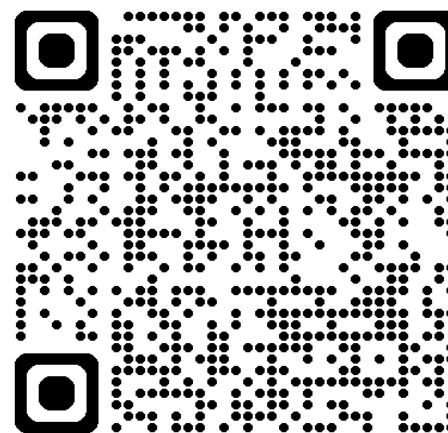
目次

P 4	結核について（パンフレット参照）
P 5	感染経路、感染・発病の違い、症状
P 8	結核の統計
P14	令和6年の結核発生状況（筑西保健所管内）
P15	結核の診断
P16	結核と言われたら
P18	結核の空気感染対策
P20	標準治療、服薬支援（DOTS）
P22	事例紹介①②
P24	発病リスク要因
P25	保健所の役割

結核のパンデミックが続く！
(世界的大流行)

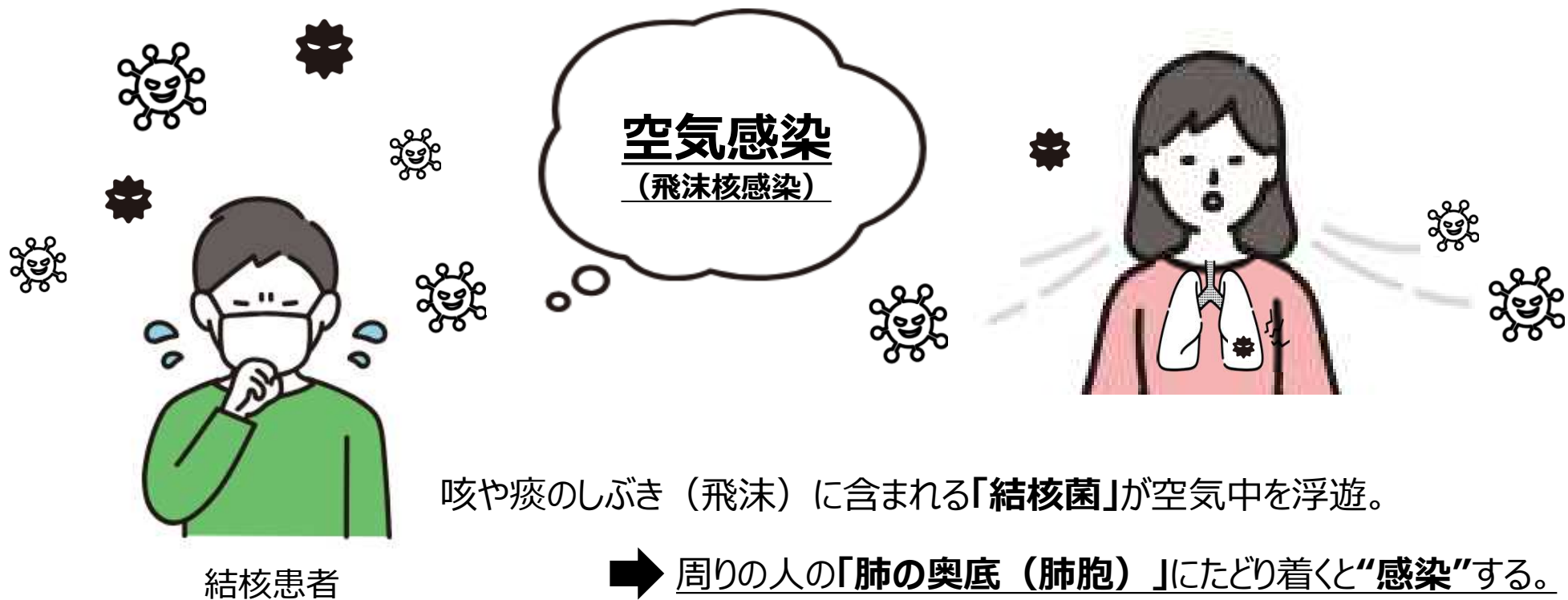
「結核」は、昔の病気ではありません。
世界では、毎年100万人を超える人々が
結核で命を落としています。

“結核”について

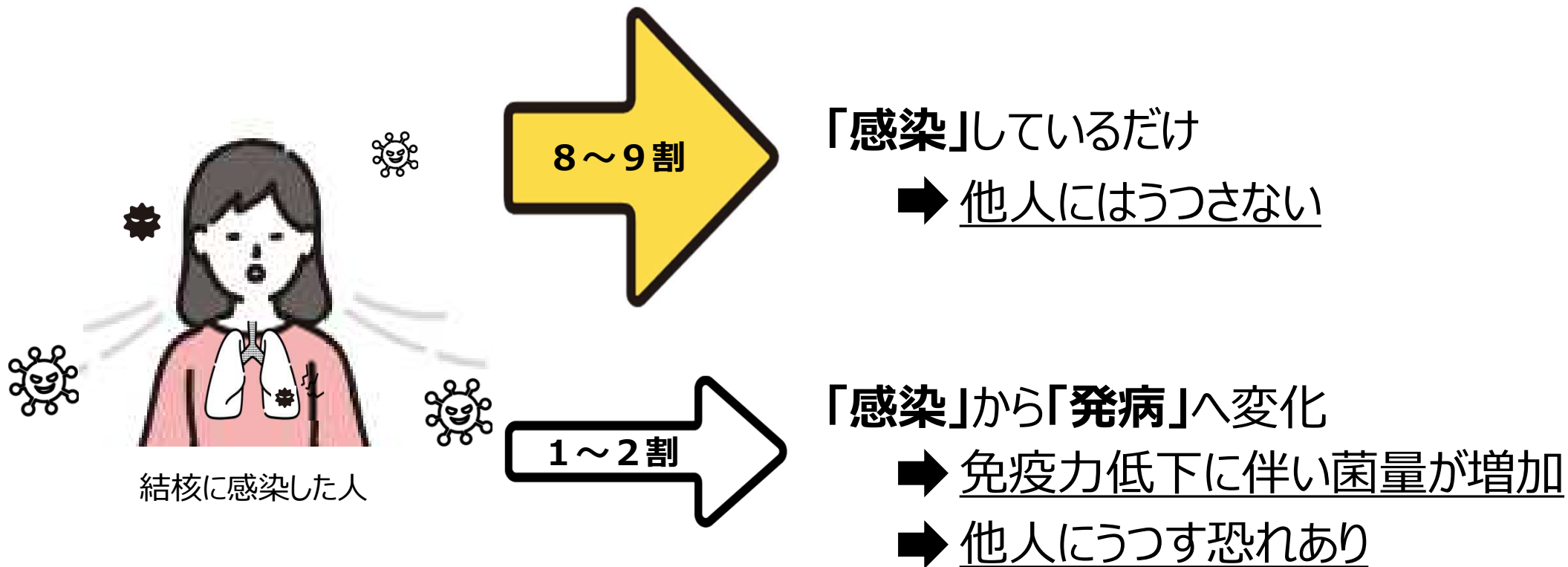


「介護職のあなたにこれだけは知ってほしい“結核のこと”」
公益財団法人 結核予防会 結核研究所作成
(ホームページ添付の啓発資料より)

「感染経路」は？



「感染・発病」の違い



発病後の「症状」は？



風邪みたいな症状
がずっと続くんだね

高齢者結核で注意する症状

高齢者では、咳や痰等の特徴的な
症状が出ないことがある！

- ・2週間以上の咳、痰
 - ・血痰
 - ・呼吸困難
 - ・微熱
 - ・全身倦怠感
 - ・食欲低下
 - ・体重減少
- 等

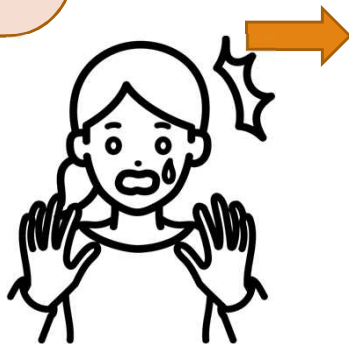
結核の統計

2023年結核罹患率の
全国平均は「8.1」！

罹患率が高い地域は
西日本が多いですね。

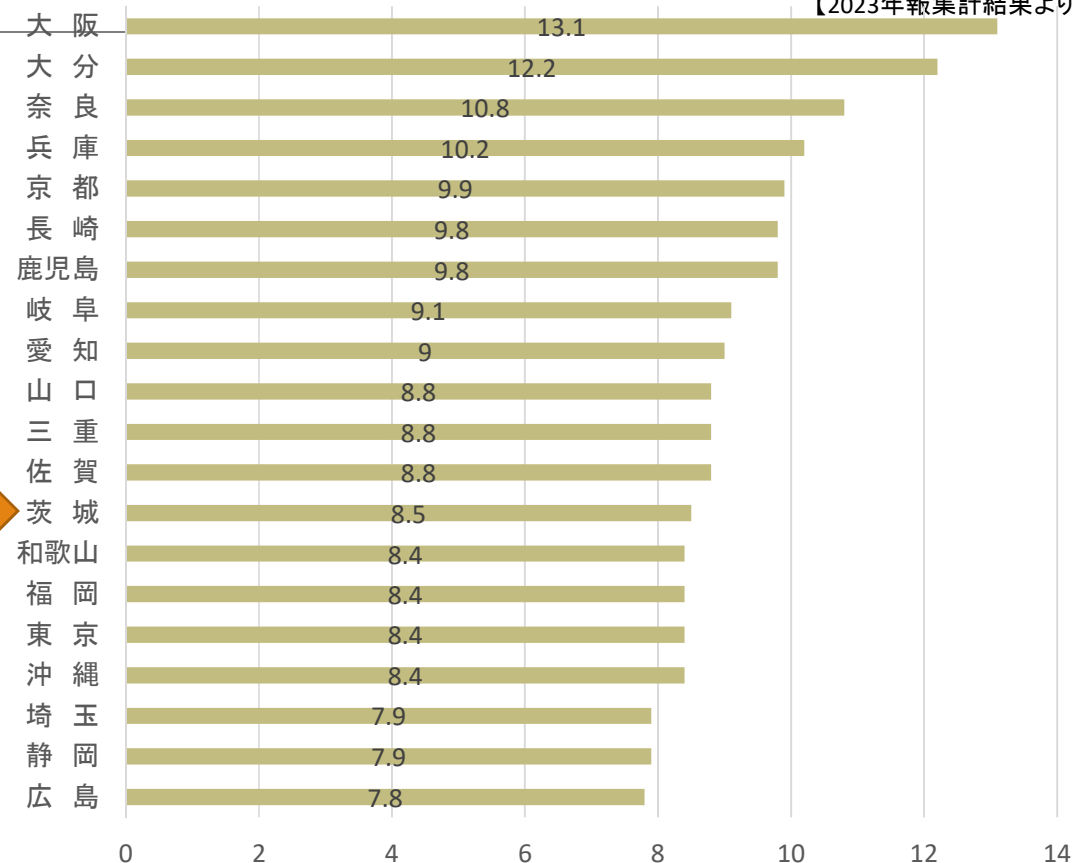
新登録患者数：
1年間で新たに結核を発病し登録された人数

結核罹患率：
新登録者数を人口10万対で示した数字



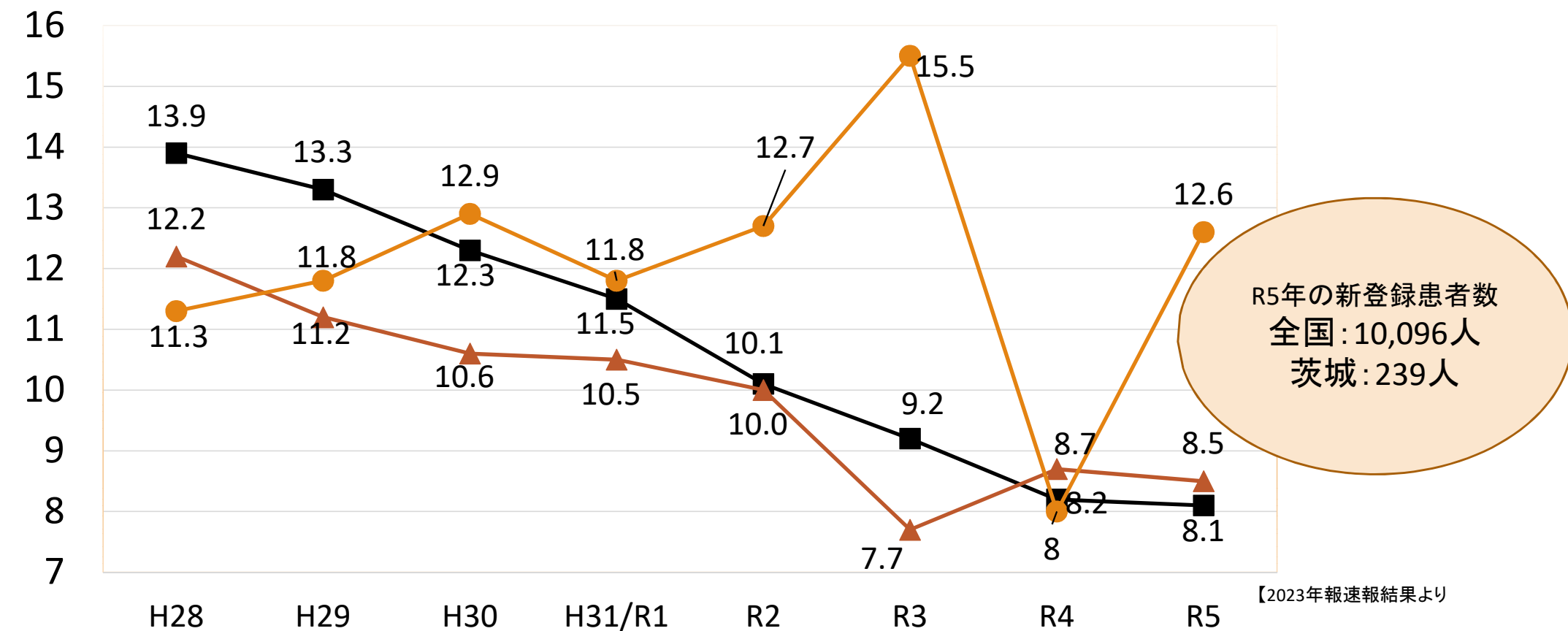
都道府県別の罹患率 上位20都道府県
(2023年,人口10万対)

【2023年報集計結果より】



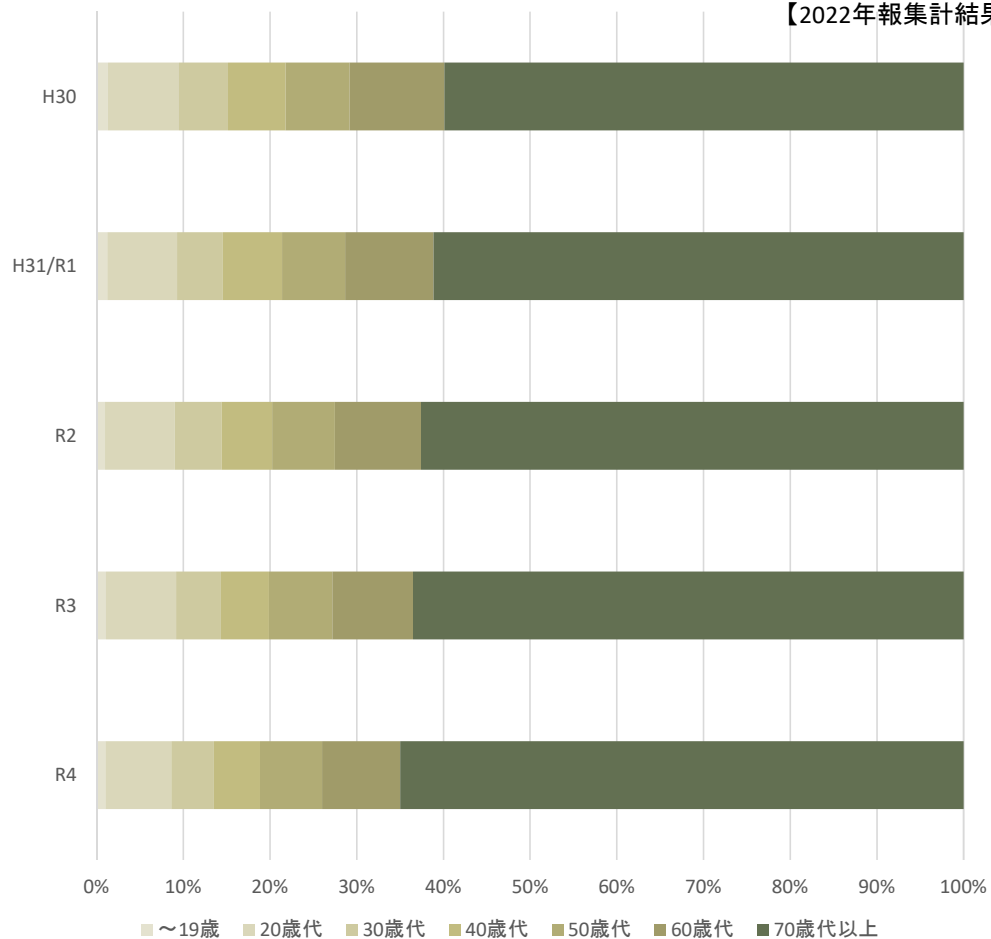
結核罹患率(人口10万対)

(人) ■全国 ▲県 ●筑西



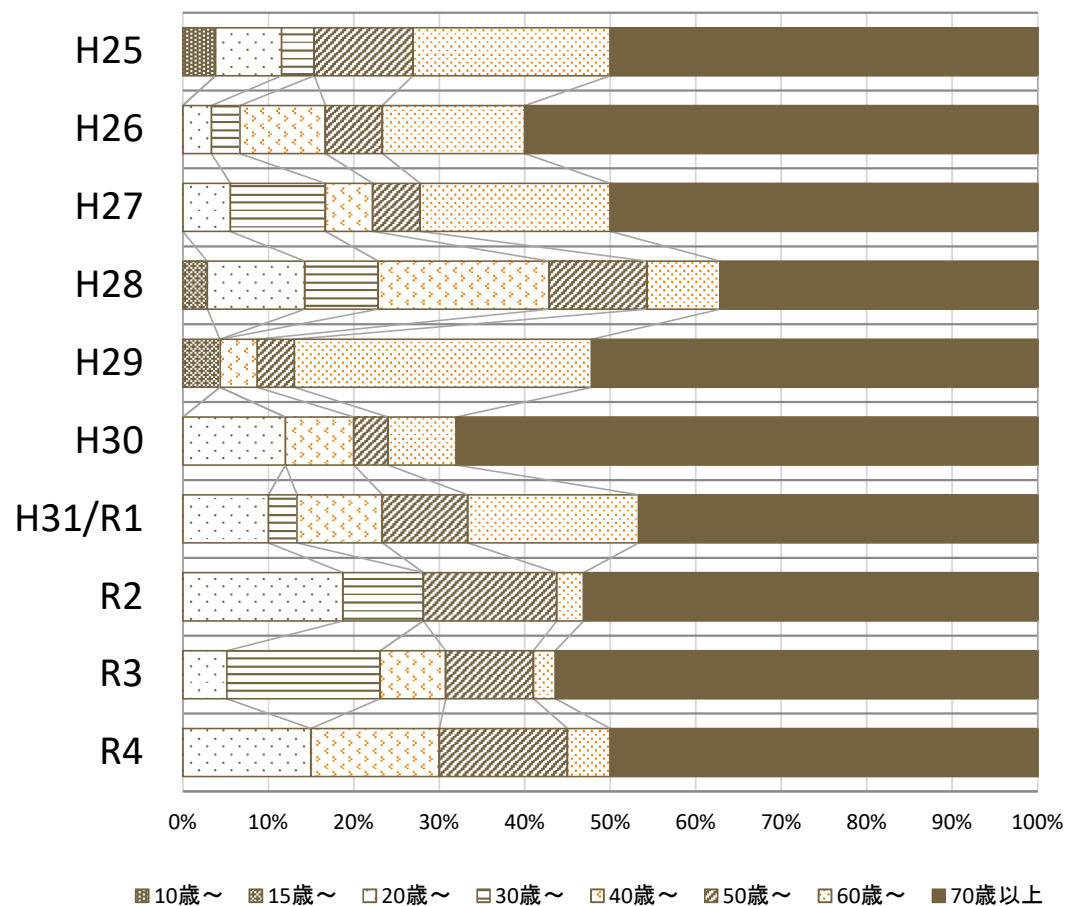
新規登録患者数年齢階層別(全国)

【2022年報集計結果より】

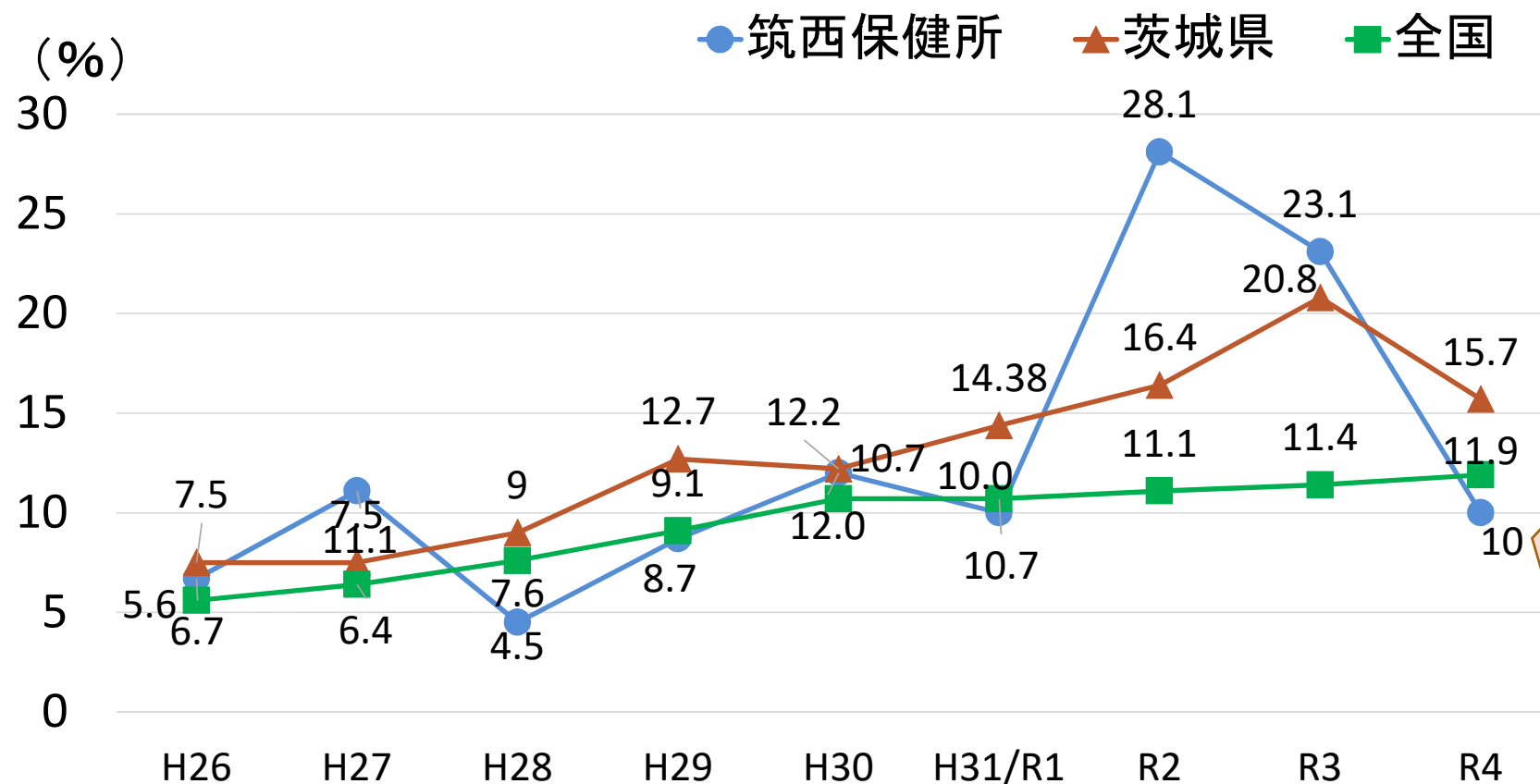


新規登録患者数年齢階層別(筑西)

【2022年報集計結果より】



結核患者登録数に占める外国出生者割合



外国出生者の割合
は全体では
「11.9%」だが、

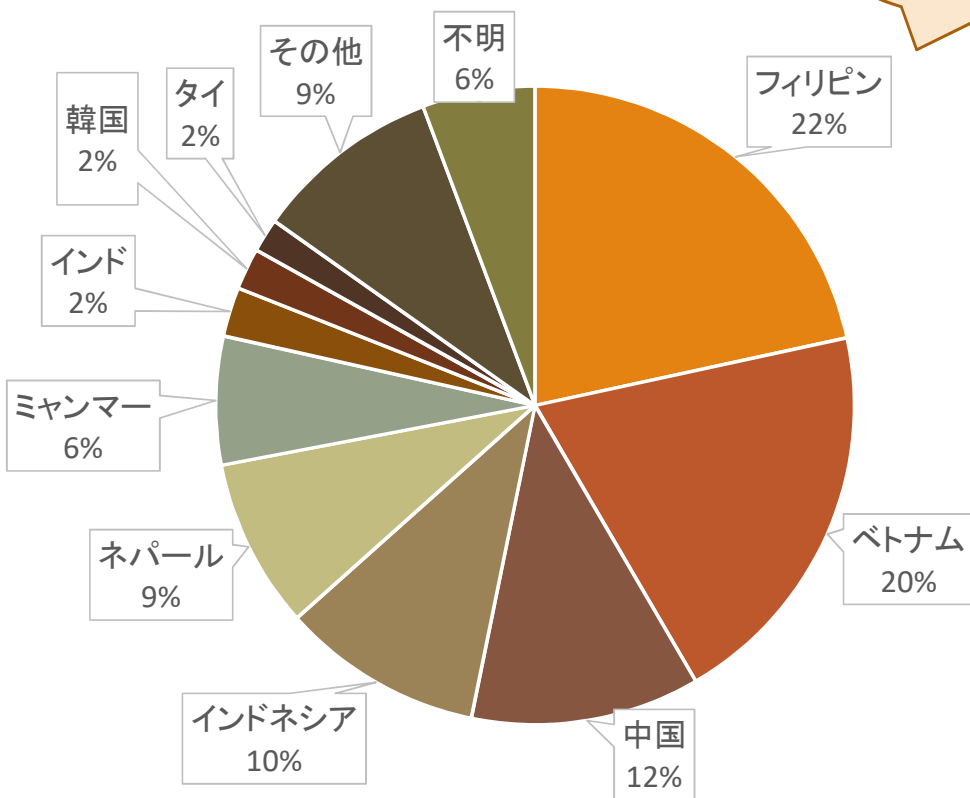
若年層(20~29歳)
の外国出生者の割
合は「70%」以上



外国出生者の結
核患者への対応
も必要

【2022年報集計結果より】

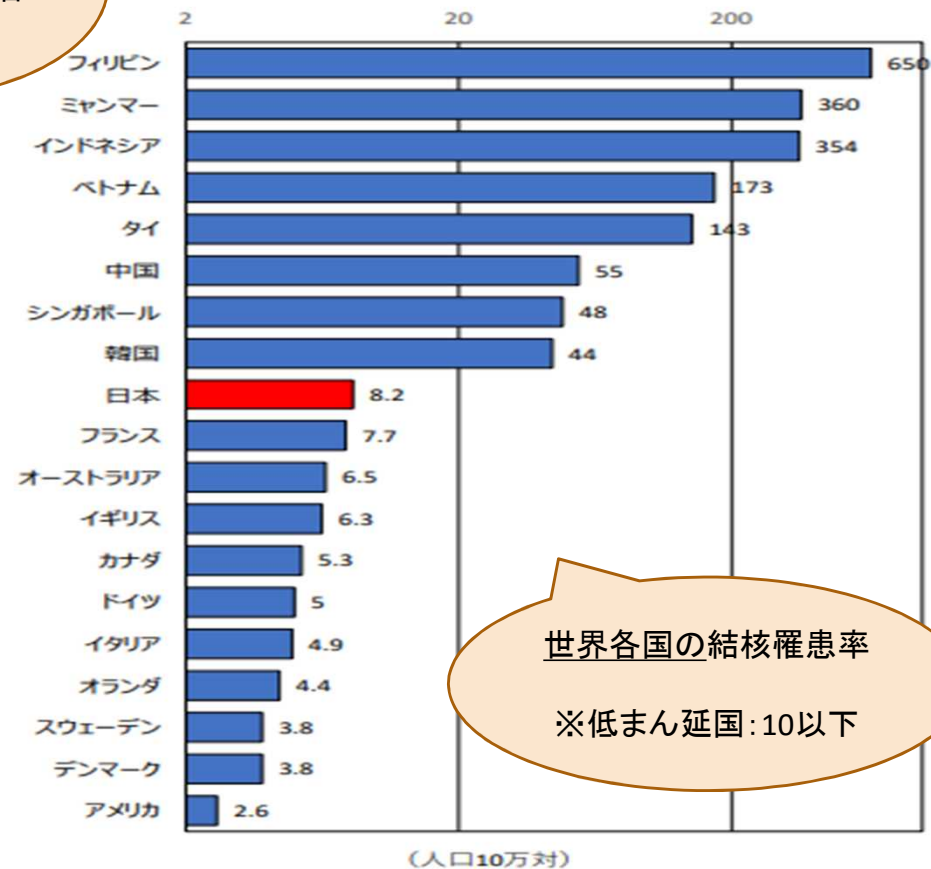
結核新登録者の外国出生者の出身国
(2021、n=1,313)



【2021年報集計結果より】

日本で結核診断
された外国出生者
の出身国

世界各国の全結核届け出率



世界各国の結核罹患率

※低まん延国:10以下

【2022年報より疫学情報センター作成】

結核の統計

<全国>

- ・全体の結核罹患率は減少傾向で、70歳以上の高齢者が約 6 割を占める。
- ・一方で、若年の外国出生者の結核罹患患者割合が増加。

<茨城県>

- ・結核患者(新登録患者)に占める70歳以上の高齢者は、5 割弱。
 - ・外国出生者の結核罹患患者割合は、全国を若干上回る。
- ※管轄地域によっては、高齢者・外国出生者の各割合が、県と比較して差が大きい場合がある。



特に高齢者、若年の外国出生者への結核予防対策が必要とされている。

令和6年の結核発生状況 (R6.1.1～R6.12.31現在)

<結核新登録患者数の内訳>

・結核新登録患者 24名
(発病した結核患者)

	患者数 (人)	割合 (%)
70歳以上	11	45.8
外国出生者	7	29.1
排菌患者	11	45.8

・潜在性結核感染症 10名
(感染のみしている結核患者)

うち7名 筑西保健所の接触者健診にて発見

結核の診断

＜感染の有無を調べる検査＞

- ・インターフェロン γ 遊離試験（IGRA）
： QFT、T-spot ←血液検査



受検者の状況に合わせて
検査を実施します

＜発病しているかの検査＞ ※一部抜粋

- ・喀痰塗抹検査 ： 抗酸菌の量で感染性を判断
- ・喀痰培養検査 ： 生きている菌か死んでいる菌か調べる
- ・核酸増幅検査 ： 結核菌なのか調べる
- ・画像検査（胸部） ： 結核の所見があるか調べる



「結核」と言われたら・・・①

●感染性がない場合

→通常通り生活して問題ありません
通院で内服治療が可能です。

保健所からお電話します。

- ・疫学調査、服薬手帳のお渡し
- ・公費の説明、服薬確認の方法 等

●感染性がある場合

感染対策が必要

→診断後すみやかに入院治療となります。
一般的に大体1～2か月入院します。※個人差あり

- ・保健所の疫学調査（職場、利用中のサービス含む）にご協力ください。家族、勤務先に、保健所から連絡があることを伝えてください。

「結核」と言われたら・・・②

入院治療する場合、

＜結核病床を有する指定医療機関（茨城県）＞

①茨城県立中央病院（笠間市）：25床

②茨城東病院（東海村）：10床

③鹿島病院（鹿嶋市）：2床

④筑波学園病院（つくば市）：19床

厚労省のホームページに、全国の指定状況が載ってるよ！



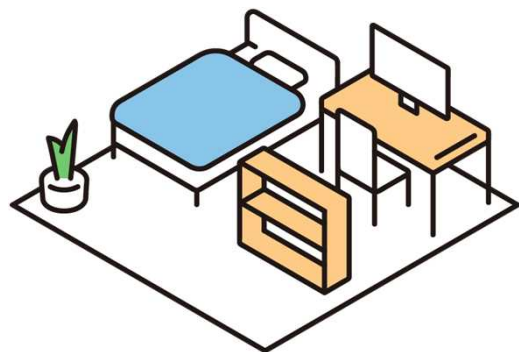
複十字シール運動キャラクター
「シールぼうや、シールハイハイ、たすけあインコ」

結核の空気感染対策

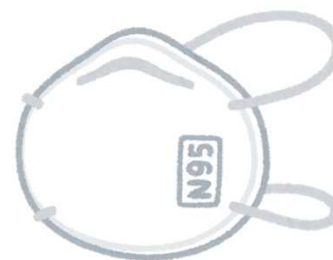
施設利用者が結核疑いになった場合

感染性の有無が判明するまで、

①結核疑いの利用者は個室等に ②介護者はN95マスクを着用
移ってもらう



N95以外の防護（PPE等）
は必要ありません。



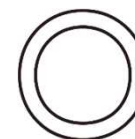
※利用者は不織布マスクで良い



部屋の消毒



患者の使用物の
破棄



患者の使用済み
ティッシュは、袋に
密封して破棄

結核の標準治療

「毎日」「かかさず内服」する必要があります。
いい加減な飲み方はNG！



複数の薬剤を6か月以上服薬。

合併症や副作用等により薬剤の種類や期間が変更する可能性がある。



服薬支援 (DOTS: Directly Observed Treatment Short Course)

「DOTS」は、医療機関
や薬局、市町村、利
用先の施設等と協力
して実施しています。

薬の飲み忘れが無いように内服を見届ける支援

- ・6か月 (or 決められた期間)、複数薬剤を確実に内服し治療完遂するため。
- ・服用する薬剤の種類と個数を確認する。

自己中断
不規則内服



薬剤耐性菌が作られ
薬が効かなくなる！

筑西保健所管内のDOTS実施状況

(R6.12.31現在)

DOTS方法	対象者数	主な頻度
院内DOTS	4	毎日
外来DOTS	4	受診毎
訪問DOTS	3	月1回
連絡確認DOTS	11	月1回 (ケースにより毎日確認)
計	22	

令和6年度中、結核治療中患者は20～30人前後DOTS対象者がおり、アセスメント票の評価に応じて、DOTS方法及び頻度を検討し実施。

事例紹介

～高齢者・外国出生者の結核～

ケース①：高齢者の発症

関節リウマチ治療を開始した方のおはなし



Aさん
(80代 男性)

令和6年3月 かかりつけ医で「関節リウマチ」の診断
免疫抑制剤による治療開始
令和6年5月 新しい免疫抑制剤を追加
令和6年10月 咳、痰、息切れが出現
結核菌検査で結核と診断。入院治療となる。

Aさんはこれまで元気に暮らしていましたが、持病の治療継続している中、薬の副作用で**免疫力が低下**し、結核を発病してしまった可能性が高いです。

※個人情報を遵守する為、一部情報を匿名化・加工しております

ケース②：外国出生者の発症



就業目的で来日した、海外出身の方のおはなし

令和6年4月 技能実習生として、フィリピンから来日
令和6年9月 職場健診（胸部Xp検査）にて、異常あり
その後医療機関受診し、結核と診断。

実は、、、
7月頃から咳・痰・食欲
不振症状があった。



約30年前タイから来日。
令和6年4月 職場健診（胸部Xp検査）にて、異常あり
令和6年6月 その後医療機関受診し、結核と診断。

実は、、、
過去に母国で結核治療
を自己中断していた。

※個人情報を遵守する為、一部情報を匿名化・加工しております

発病リスク要因

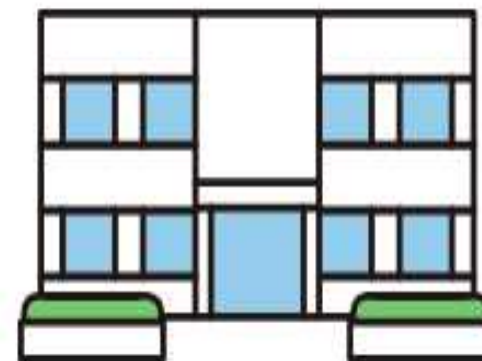
- ・HIV/エイズ
- ・喫煙
- ・糖尿病
- ・免疫抑制剤の使用
- ・ストレス

- ・臓器移植
- ・慢性腎不全（血液透析、腎移植）
- ・珪肺
- ・結核患者との接触（2年以内）



保健所の役割

- 1 積極的疫学調査
- 2 接触者健康診断
- 3 服薬支援（DOTS）のサポート
- 4 結核診査会の開催
- 5 治療終了後の検診（管理検診）
- 6 関係機関との連携
- 7 結核の早期治療・予防啓発活動 等



保健所からのお願い

1, 定期健康診断の報告

事業主　：病院、診療所、助産所、介護老人保健施設

施設の長：救護施設等、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム
障害者支援施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設、婦人保護施設

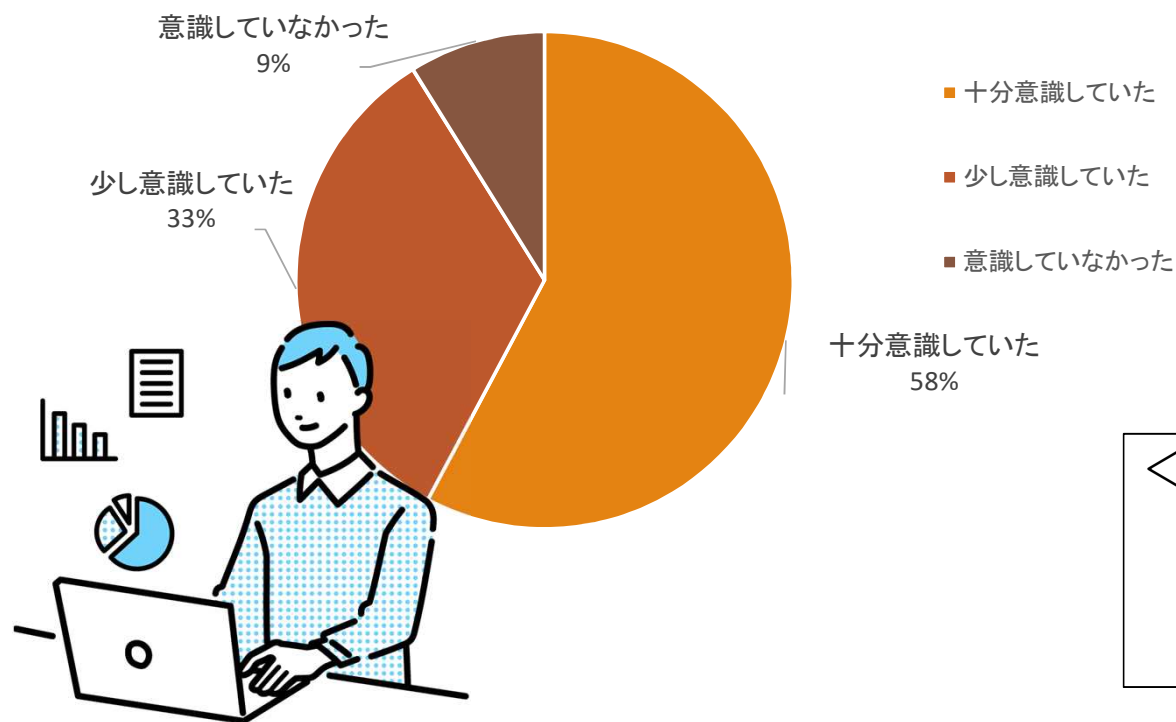
2, 結核の調査及びDOTSのご協力

3, 正しい知識の周知



アンケート集計にご協力ください すでにご回答頂いた皆様、ありがとうございました

施設利用者の胸部レントゲン検査結果に対する意識調査



左図は、これまでご回答頂いた集計結果の一部です。

今後の事業の展開の為、活用させて頂く重要な資料となります。

<お問い合わせ先（結核）>

筑西保健所 保健指導課 結核担当

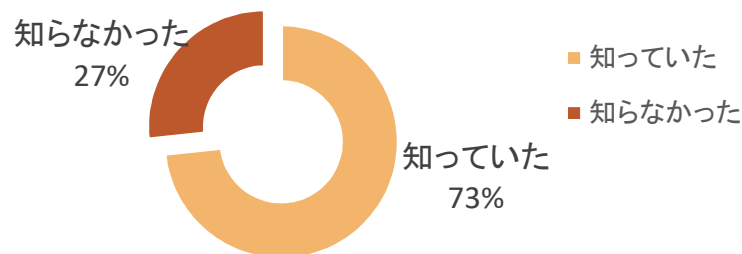
TEL：0296-24-3965（直通）

Mail：chikuho05@pref.ibaraki.lg.jp

アンケート集計にご協力ください すでにご回答頂いた皆様、ありがとうございました

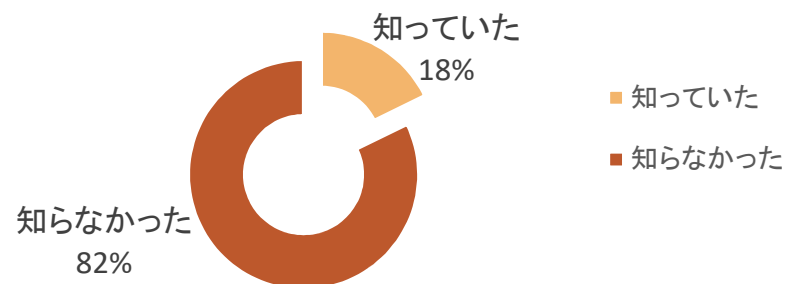
結核の統計に関する理解度①

—結核患者を占める**高齢者割合が高い**—



結核の統計に関する理解度②

—結核患者を占める**外国出生者が増加傾向**—



左図は、これまでご回答頂いた集計結果の一部です。

今後の事業の展開の為、活用させて頂く重要な資料となります。

<お問合せ先（結核）>

筑西保健所 保健指導課 結核担当

TEL：0296-24-3965（直通）

Mail：chikuho05@pref.ibaraki.lg.jp





＜筑西保健所管轄の市町村＞

- 筑西市
- 桜川市
- 下妻市
- 結城市
- 八千代町

→約24～25万人
(茨城県人口の約9%)

※参考「茨城県の人口と世帯（推計）R5.10.1時点」

参考文献

- ・「2022年 結核登録者情報調査年報集計結果」：厚労省HP
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000175095_00010.html
- ・「介護職のあなたにこれだけは知ってほしい“結核のこと”」：結核予防会結核研究所発行
- ・「結核の常識」：結核予防会結核研究所発行
- ・結核予防会結核研究所 疫学情報センター
- ・結核院内（施設内）感染対策の手引き 平成 26 年版
- ・結核医療の基準（R3.10.18改正）
- ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における結核患者の入退院及び就業制限の取扱いについて
【平成 26年1月 29 日一部改正後全文】健感発第 0907001号平成 19年 9月 7 日